

研究タイトル:

自己入射的な多元環の表現について



氏名:	大貫洋介 / OHNUKI Yosuke	E-mail:	ohnuki@genl.suzuka-ct.ac.jp
職名:	准教授	学位:	博士(理学)
所属学会・協会:	日本数学会		
キーワード:	環論、表現論、圏論、数学教育、		
技術相談 提供可能技術:	<ul style="list-style-type: none"> ・代数学、環論 ・数学教育、教材開発 ・公開講座 		

研究内容:

多元環とはある可換環上の加群としての性質、それとは別の積の演算の2つの性質を併せ持つ代数的な対象です。私の研究対象は体上の多元環上を考え、その多元環上の表現を様々な方法で調べることにあります。多元環上の表現を分類する方法として、Auslander-Reitenにより本質的に他の写像の合成写像で表せない表現間の写像 (irreducible map) とそのつながり方で分類する方法が考えだされ、学生時代からこのつながり方やつながった表現の集まり (Auslander-Reiten component) の個数や濃度の研究をしていました。有限表現型は完全に分類され、無限表現型の中でも tame 型はある程度具体的に捉えることができるものの wild 型は全体の中の一部しか様子をつかめません。私の興味はこれらの中で自己入射的な多元環の表現です。現在は、三角化圏に拡張した様々な圏を用いて表現の圏に帰着出来る結論を導くことを目的として研究しています。

提供可能な設備・機器:

名称・型番(メーカー)	